

I. 平成30年度の取組みの実績

グループ名称	ダーウインの会				
H30採択グループ番号	07	—	0194	—	0785

A H30年度にグループとして力を入れた取組み

内容	H30年度のダーウインの会として取り組んだ事は、住まい手が安全・安心を感じられる住まい造りの推進でした。地域的にまだ長期優良住宅、省エネルギー住宅が普及段階にあるため、中小工務店でこの足を踏んでしまう事が多く、未経験工務店はいつまでもそのままという状態。そこから第一歩を踏み出して頂く事が最大の目標です。
----	--

B 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2018/08/01	名称	グリーン化事業説明会		
	内容	H30年度の当グループの取組み内容の説明を行いました。主に地域材の受発注の流れや、交付申請に係る流れ等を説明。質疑応答で終了した。同時に各工務店毎に打ち合わせを行った。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/01/19	名称	かごしまよか家		
	内容	株式会社木協展示会会場にてお客様に対する長期優良住宅、ゼロ・エネ住宅に関する説明ブースを設置、該当客に説明。						
③ 工務店	消費者説明会 2		開催日		名称			
	内容							
	工務店研修会 1	有	開催日	2018/12/23	名称	ゼロ・エネ完成見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 2		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 3		開催日		名称		タイプ	
工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ		
工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ		

C 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有						
	内容	事務局、外部にサポート体制を構成。未経験工務店に対して、設計(外部)・申請手続き(事務局)のサポートを行い、心配なく事が進められるようにした。2工務店に注力し、自社での対応が可能になった。						
取組み ②	サポートの有無 2							
	内容							
取組み ③	サポートの有無 3							
	内容							

D 住宅履歴情報の蓄積について

① 履歴情報預り証の発行件数	発行済	3	発行予定	4
② 住宅履歴情報の保管先	自社	機関名		

E 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有						
内容	グループ設立時より、構成員1社あたり1.2万円ずつ年会費として積立しています。事業者廃業時には、積立を基に対象住宅の検査を行う。以降管理する事業者を事務局から家主に紹介する。						
② H30年度における施工構成員の廃業	無						
対応内容							

F 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組 ①	有						
内容	グループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を推奨した。特に未経験工務店に対しては、開催日時等の案内を定期的に行いました。申請をしないに関わらず、講習によるレベルアップを図りました。						
省エネ化に対する取組 ②							
内容							
BELS工務店の登録数	3 社						

I. 平成31年度の取組みの計画

(1) グループの信頼性と技術力の向上に向けた取組みの計画

グループ名称	ダーウィンの会				
H30採択グループ番号	07	—	0194	—	0785

A 各種説明会・研修会の実施について

① 事業	事業実施説明会	有	開催日	2019/07/13	名称	H31年度説明会		
	内容	今年度の取組について、今年度の流れ、共通ルール、研修会の実施計画、申請方法、H30年度との違い等について説明会を実施。						
② 消費者	消費者説明会 1	有	開催日	2019/07/20	名称	かごしまよか家		
	内容	各構成員のお客様を対象に株式会社木協の会議室を使い、かごしまよか家説明会を開催する。長期優良住宅、省エネルギー住宅のメリットの説明をする。						
	消費者説明会 2	有	開催日	2020/01/25	名称	株式会社木協展示会		
	内容	各構成員のお客様、一般のお客様を対象に株式会社木協展示会場内に特設ブースを設置、マンツーマンで長期優良住宅とゼロ・エネ住宅のメリットを説明する。						
③ 工務店	工務店研修会 1	有	開催日	2019/08/01	名称	長期優良住宅研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 2	有	開催日	2019/07/30	名称	ゼロ・エネ住宅研修会	タイプ	座学
	工務店研修会 3	有	開催日	2019/08/24	名称	かごしまよか家見学会	タイプ	見学会
	工務店研修会 4		開催日		名称		タイプ	
	工務店研修会 5		開催日		名称		タイプ	

B 未経験工務店へのサポートの実施について

取組み ①	サポートの有無 1	有	
	内容	事務局、外部にサポート体制を構成。未経験工務店に対して、設計(外部)・申請手続き(事務局)のサポートを行い、心配なく事が進められるようにする体制を今年度も継続して実施する。	
取組み ②	サポートの有無 2		
	内容		
取組み ③	サポートの有無 3		
	内容		

C 住宅履歴情報の蓄積について

住宅履歴情報の保管先	自社	機関名	
------------	----	-----	--

D 工務店の廃業時のバックアップ体制について

① 施工構成員の廃業に対する体制	有	
内容	グループ設立時より、構成員1社あたり1.2万円ずつ年会費として積立しています。今年度も継続して事業者廃業時には、積立を基に対象住宅の検査を行う。以後管理する事業者を事務局から家主に紹介する。	

E 住宅の省エネルギー化に向けた取組み

省エネ化に対する取組み（新築）	有	
内容	今年度もグループ構成員全員に対して省エネ講習会への受講を推奨する。特に未経験工務店に対しては、開催日時等の案内を定期的に行い、申請をしないに関わらず、講習によるレベルアップを図ります。合わせて、経験工務店完成見学会(年5回程度)会場にて、未経験工務店向けの説明を行う。	
省エネ化に対する取組み（改修）		
内容		

F 省エネ改修に関する研修の計画

研修計画 ①	無	実施日	
内容			
研修計画 ②		実施日	
内容			

Ⅱ. 平成31年度の取組みの計画

(2)地域型住宅及び生産体制の整備に関する計画

グループ名称	ダーウインの会				
H30採択グループ番号	07	—	0194	—	0785

A 提案する地域型住宅の特徴

内容	私たちが目指すのは、家族が笑顔でくつろげる安心・安全な住まいを提供することです。地域的に風水害、地震等の災害がいつ起きてもおかしくないなか、家族に安心・安全・快適を提供する鹿児島県の優良な地域産木材を使った風土に調和する家造りを提供します。長く安心してお住まいいただくためのメンテナンスも充実した長期優良住宅、省エネルギー住宅を提供します。	●
----	--	---

B 地域材の利用に関する共通ルール

①-1 1棟当たりの主要構造材地域材の使用割合	50%未満		50%以上	■	80%以上
①-2 地域材の使用部位	② 地域材の利用に関する補足説明				
主要構造材	土台	有			
	柱	有			
	梁・桁等の横架材等	有			
	羽柄材	無			
造作材	間柱、根太、垂木等	無			
板材	柾材、廻縁等	無			
	壁板、床板等	無			
主要構造材の50%以上に鹿児島県産材を使用 主要構造材以外は必要に応じ県産材使用(必須ではない)					

C 生産体制の整備と生産性向上に向けた取組み

①	地域材の調達共同化に向けた取組み	有
内容	各製材所と連携し、過去数年のデータは共有化されている。 調達に支障は今のところないので、本年度も継続する。 本年度は着工数の増加が見込まれるので、各製材所と打ち合わせをすませ、工務店側と連絡を取りながら調整をはかる。	
②	建材・特定資材の調達共同化に向けた取組み	無
内容		
③	地域材・建材・資材の在庫供給情報の共有化	有
内容	グループ内の鹿児島県産材在庫状況は工務店積算時より各製材所と密に連絡を取り合い、事務局が管理。必要に応じて各工務店に連絡。	
④	施工に関する統一ルール	有
内容	住宅支援機構の標準仕様を施工基準とし、省エネ施工に関しては省エネルギー技術講習会の施工講習を受講して、技術の共通化を図る。必要に応じて完成見学会を利用して、講習会を開催する。	
⑤	住宅のメンテナンスに関する統一ルール	有
内容	グループ独自のメンテナンス/補修のルールブックの基を作成。工務店毎の独自書として活用。 引き渡し時に内容説明を行い提出。定期点検時期管理は基本工務店側だが、グループ側からも告知を行う。点検完了後に住宅履歴情報登録を行い事務局に報告。	
⑥	施工検査(瑕疵担保責任保険の検査以外)	有
内容	グループとして施工中、引き渡し前の2回検査を行い、施工品質の向上、共有化に取り組む。	
⑦	見積りに関する統一ルール	有
内容	グループとしての統一ルールとしては、構造材の50%を下限として県産材を使用する(可能な限り県産材を使用する)事のみ。	
⑧	その他の共通ルール	有
内容	特になし	

D 効率的で適切な就業環境が確保された住宅生産体制の整備に対する取組み

①	週休2日制の導入の取組	有	内容	基本的に各構成員の事務所では週休2日制を導入されている。 一部隔週2日もあるので、週休2日を推奨。
②	技能や経験にふさわしい処遇の実現に向けた取組	有	内容	キャリアアップに関する学習会を検討。今後各事業者と協議計画あり。
③	社会保険への加入	有	内容	全事業者が加入している。
④	建設工事従事者の安全及び健康の確保のための取組	有	内容	安全講習に関する研修を検討。今後事業者と協議計画あり。

II. 平成31年度の取組みの計画

(3) 地域の産業・住文化・景観等に関連する計画

グループ名称	ダーウインの会				
H30採択グループ番号	07	—	0194	—	0785

A 地域の産業・住文化・景観等、和の住まいの取組みに関する対応

① 畳の活用	有	内容	かごしまよか家の基本提案仕様として、家族がくつろげる量のある居室を推奨。
② 和瓦の活用	有	内容	かごしまよか家の基本提案仕様として、和瓦の使用を推奨。地元業者を紹介し、利用を促進する。
③ 襖・障子の活用	有	内容	かごしまよか家の基本提案仕様として、和室の使用を推奨し、少なくなりつつある地元建具業者を各事業者に紹介し、利用を促進する。
④ 地域の伝統的素材の活用	無	内容	

B 地域の住文化に関する取組み

① 地域の伝統的なデザインの継承	有	内容	地域コミュニケーションで支えあっている風土を活かす事を考慮し、外部との繋がりがあり開放感を感じられるデザインを推奨している。
② 地域の住まい方の継承	有	内容	必然的に家族のコミュニケーションがうまく取れ、近隣とのコミュニケーションが取りやすいデザインを推奨している。
③ 地域の街並み形成への配慮	有	内容	色、デザインとも地域の景観を損なわないデザインを推奨している。

C 被災地の復興に資する取組み

① 東日本大震災・平成28年熊本地震・平成30年7月豪雨・平成30年北海道胆振東部地震の復興に資する取組み	<p>当グループが行ったイベント(展示会)開催時に震災復興の案内を出し、震災復興に寄与する商品の購入を推奨した。 平成28年熊本地震の際には、現地赶赴ける大工の紹介を行った。</p>		
② 地域型住宅の供給地域において災害等が発生した場合に検討している取組み	<p>風水害の発生率が高い地域のため、関連各社と連携した災害時の対応について取り決めがされている。</p>		